

平成23年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	対日理解促進のための招へい(ビジネス関係者、規制担当者、留学関係者等)		担当部局庁	広報文化交際部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度単年度事業		担当課室	人物交流室		室長 川上 文博		
会計区分	一般会計		施策名	Ⅲ－1 海外広報、文化交流				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項		関係する計画、通知等	東日本大震災からの復興の基本方針				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	海外の貿易・投資等に関わるビジネス関係者、各国政府・関係団体等の規制担当者、留学生送り出しに影響のある大学・高校等の教育関係者等を招へいし、日本の安全安心、復興の状況を理解してもらい、誤解を解消することにより、行き過ぎた規制の是正、我が国の状況の変化に即した速やかな規制変更の促進、観光の促進、留学生の日本離れ防止、海外との経済交流の活発化等を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	上記分野で我が国との関係の深い国・地域を中心に、当該分野で影響力を有する人物を招へいし、我が国のカウンターパート等によるフリーフィング、懇談、現地視察等を中心とした日程を通じて震災後の我が国の対応、復興の状況等について被招へい者の対日理解を増進する。 本邦滞在期間は6泊7日を上限とする。また、接遇については、「戦略的実務者招へい」に準じて、被招へい者のランクによってA(近い将来関係級となると目される官僚、国会議員、学者等特に配慮を有する者)、B(左記以外で一定の影響力を有する各界関係者)、C(若手官僚等の若手の各界関係者(グループ招待を含む))の3ランクに分類して実施。A・Bランクはビジネスクラス、Cランクはエコノミークラスを利用する。							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	—	—	—	51		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	—	—	—	51	226	
	執行額		—	—	—			
	執行率(%)		—	—	—			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	在外公館によるフォローアップ調査を実施し、被招へい者の帰国後の対応及び本件プログラムに対する評価等を確認。		成果実績	人	—	—	—	34
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	招へい人数		活動実績 (当初見込み)	人	—	—	—	—
					(—)	(—)	(—)	(42)
単位当たりコスト			算出根拠					
平成23年度 (単位:千円) 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	航空賃	—	189,226	東日本大震災復興関連事業(要求226百万円)				
	招へい外国人滞在/接遇費	—	35,061					
	国内旅費	—	1,240					
計	0	225,527						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	・東日本大震災後の風評被害への対応は喫緊の課題であり、政府として実施すべき優先度の高い事業である。 ・接遇業務の委託については、一般競争入札により選定した「戦略的実務者招へい」の枠組みで実施しており、競争性が確保されている。 ・招へいの成果についても、「戦略的実務者招へい」と同様のフォローアップを実施することにより、成果を検証することとしている。		
予算監視・効率化チームの所見			
	—		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	—		
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
C.					
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
D.					
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					